

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績				
【法人名】 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会	目標	有料公園施設利用者数	利用料金・事業収益等	キャッシュレス決済の導入率	連携・協働事業参加者数
		【令和5年度目標】 6,163千人	【令和5年度目標】 2,104百万円	【令和5年度目標】 42%	【令和5年度目標】 12千人
		【令和6年度目標】 6,189千人	【令和6年度目標】 2,157百万円	【令和6年度目標】 64%	【令和6年度目標】 12.5千人
		【令和7年度目標】 6,555千人	【令和7年度目標】 2,191百万円	【令和7年度目標】 77%	【令和7年度目標】 13千人
【中期経営計画の期間】 令和5年度～令和7年度	各年度の実績	【令和5年度実績】 5,773千人	【令和5年度実績】 1,993百万円	【令和5年度実績】 40%	【令和5年度実績】 11千人
	法人による自己評価	<p>未達成(目標値比▲390千人)</p> <p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 埼玉スタジアムサッカー場▲70千人 利用者が伸びず目標に達することができなかった。 熊谷スポーツ文化公園ラグビー場以外の施設▲100千人 利用者が伸びず目標に達することができなかった。 こども動物自然公園入園者数▲70千人 猛暑による夏季期間の不調 さいたま水族館入館者数▲20千人 猛暑による夏季期間の不調 県民健康福祉村プール▲50千人 屋内のプール事業の休止 <p>見通し等</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し有料公園施設の利用者もコロナ禍に比べ徐々に回復し令和4年度比では12.6%のプラスとなった。 令和6年度は更なる利用者サービスの向上を図り利用者数の増に努めて参りたい。</p>	<p>未達成(目標比▲111百万円)</p> <p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 有料施設利用者数が目標に達しなかったため 利用者数(▲6.3%)に比べ収入(▲5.3%)のマイナスが小さかったのは、さいたま水族館のお土産売店の直営化などの努力のほか、物価上昇による影響と考える。 <p>見通し等</p> <p>今後も利用者の安心安全を確保しながら年間を通じて様々なサービスを展開し、収益増に努める。また、キッチンカーや自動販売機など需要が伸びている分野の促進や、キャッシュレス対応を進めるなど、利用者の利便性向上と収益増に相乗的に取り組んでいく。</p>	<p>未達成(目標比▲2ポイント)</p> <p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的な整備を進めるため、実施個所を一部変更したことに伴うもので、最終目標の7年度末への影響はない。 <p>見通し等</p> <p>動物園や水族館の入園館料やお土産販売を行う直営売店についてキャッシュレス決済を導入し利用者の利便性の向上に努めた。今後も各公園の導入スケジュールに沿ってキャッシュレス決済を進めDXの推進をしていく。</p>	<p>未達成(目標比▲1千人)</p> <p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 3公園合同のスタンプラリー(久喜・加須・羽生)など新規事業で320人程度の参加者があった。その他にも様々な事業でも少しずつ参加者が増えていたが、令和4年度に比べボランティア人数が885人減少し、結果として前年度比に対して微増に留まってしまった。 ボランティア人数の減については、高齢化に伴うボランティア会員の減少や、夏の猛暑による活動自粛が影響した。 <p>見通し等</p> <p>令和6年2月には県内に温泉施設を複数もつ株式会社温泉道場と連携・協働事業に関する包括連携協定を締結しており観光やスポーツなどを通してそれぞれの持つ強みを活かし目標達成に向けて取り組んでいく。</p>